

Contents

- ❖ 産学官連携における地域密着型金融機関の役割 1
- ❖ 活動報告(6～8月) 2
- ❖ 新規事業のご案内「会員企業リクルート活動支援事業」 2
- ❖ 活動評価委員会開催報告 3
- ❖ 「広島大学産学官連携推進研究協力会」総会開催報告 3
- ❖ これからの活動(イベント)情報 4
- ❖ 産学・地域連携センター 新産業創出・教育部門長紹介 4
- ❖ 編集後記 4



産学官連携における地域密着型金融機関の役割

呉信用金庫
常務理事 堂下大地



広島大学産学官連携推進研究協力会におかれましては、設立2周年を迎えられ誠にありがとうございます。

呉信用金庫は、2010年10月に広島大学に産学連携の提携をお願いしました。信用金庫が国立大学に提携をお願いするのはとても勇気のいることで、門前払いを覚悟で恐る恐る戸を叩いたのですが、当時の澤センター長は「広島大学は地域との連携に力を入れており、地域経済を担っている中小企業との繋がりを深めるためには中小企業金融を専門に行っている信用金庫の力も借りたい。ついては、産学連携の協力会を作るので参加してほしい」とおっしゃって下さり、大変感動したことを今でもはっきり覚えています。

協力会に加入後は、技術的な課題を抱える当金庫の取引先企業に先生を紹介していただき、課題解決や製品開発に結びつけることができたほか、広島大学発のベンチャー企業に対して当金庫が設立した公益社団法人が運営する創業・新規事業支援制度を利用した助成を行うなど、相互に協力しながら地域経済の活性化に取り組んできました。

特に、先般文部科学大臣表彰を受賞された二川教授（医歯薬保健学研究院）が開発された抗菌抗ウイルス消毒液（Etak）に関しては、当金庫の取引先の繊維メーカーなどにEtakを使った抗菌製品の開発を働きかける一方で、広島県商工労働局に対しても支援をお願いし、その結果、被災地などの自治体にEtakを寄贈することを目的とした産学官の連携組織「Etak協議会」の設立に至ったことは大変喜ばしいことです。

呉信用金庫は、これからも地域密着型の共同組織金融機関として、中小企業と個人のお客様の課題を解決し、夢を実現することによって地域の発展に貢献するという使命を果たして参ります。そのためには、広島大学の知的資源と創造力をフルに活用させていただく必要がありますので、今後ともよろしく願いいたします。

最後になりましたが、協力会関係者のみなさまの益々のご発展をお祈りいたします。



Report 1 第9回研究紹介と交流のゆうべ開催報告

平成25年6月24日(月) 17:30より、ひろしまハイビル21(広島市)にて「第9回技術・研究紹介と交流のゆうべ」を開催致しました。

地元中小企業の皆様に大学の普段の活動をご紹介することを目的に開催する本会ですが、今回は「価値共創のマーケティング」というテーマで、社会科学部マネジメント専攻の村松潤一教授に講演をして頂きました。

25名の参加者の皆様には、本学マネジメント専攻についての紹介とマーケティングについてのご紹介を熱心にご清聴頂きました。

今回の交流のゆうべについては、会員限定ホームページでの動画配信を行っております。今後も皆様のお役に立てるよう、有意義なプログラムを企画して参りたいと思います。(F.O)



Report 2 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム

第24回(7月8日)の講師は、前回に引き続き工学研究院の磯本良則准教授。

「金属を守る行為、防食の基礎」と題して研修を行いました。

発電設備や化学工場の装置群は大半が金属材料で作られているため、設備・装置の劣化も必ず起こる。そのため防食の意義と基礎について演示実験を交えつつ、解説を行いました。

第25回(8月19日)の講師は、工学研究院の栗田雄一准教授。

「ロボットと人」と題して研修を行いました。

近年人間型ロボットが多数開発されているが、産業用ロボットやヒューマノイドなどの機械システムの動作と、人間や動物などの生体システムの動作の間には、明らかな違いがある。ロボットと対比しながら人の持つ特有の性質について解説し、運動特性の工学モデルを通じてユーザビリティを評価する方法についての紹介を行いました。

(Y.Y)



新規事業のご案内

「会員企業リクルート活動支援事業」

例年2月頃開催の広島大学生向けの企業説明会(一般社団法人広島大学工学同窓会主催)へ本研究協力会正会員が出展する際、出展費用の助成を行うことにより、リクルート活動の支援を行います。

助成金額 出展費用に対して2万円を助成。(出展費用1小間2万円/日、2日間実施)

開催時期 平成26年2~3月以降の予定

申込方法 申込書に必要事項を記載し、出展費用支払い後の領収書の写しを添付の上、協力会事務局へご提出ください。

※なお、詳細については、当該企業説明会の開催日が決定後再度お知らせする予定としております。

活動評価委員会開催報告

広島大学産学官連携推進研究協力学会（以下、研究協力学会と略称）の平成24年度活動評価委員会が下記のように開催されました。

- 日 時** 平成25年7月16日(火) 15:00～17:00
- 場 所** 広島大学学士会館会議室1（東広島キャンパス）
- 出席者** 委員長：農沢 隆秀（マツダ株式会社）（敬称略、以下同様）
副委員長：保坂 幸男（広島県立総合技術研究所 外部評価委員長）
田阪 資啓（東広島市）
委 員：北林 満（公益財団法人ひろしま産業振興機構）
藤本由紀夫（本学大学院工学研究院）
二川 浩樹（本学医歯薬保健学研究院）



研究協力学会活動推進会より昨年度の事業実績の報告，ならびに平成25年度の事業計画案に関する説明が行われました。その後、これらに関する質疑応答が行われ、本学関係者が退席後、活動評価委員全員による評価の取り纏めがなされました。その結果を受け、農沢委員長による総合講評が次のとおり行われました。

総合講評

昨年度の活動評価委員会での評価コメントに沿って活動していることは良い。今後、更に以下の点に留意して活動を進めること。

- ①企業ニーズをしっかりと考えた活動推進になっているかを再チェックすること。
- ②広島大学・広島地域の特徴をもっと出した活動とすること。
- ③本研究協力学会の活動をもっと知ってもらう取り組みをすること。
- ④研究・研究会助成については、300千円は少ない金額のため、他の公的な助成に繋がるような取り組みも検討すること。

広島大学として戦略的にアイデアを持って、地域を一步リードしていくようなシナリオを考えていく必要があります。地域企業に足を運び企業と一緒に考えていけば、良い活動が出来ると思われる。（Y.Y）

「広島大学産学官連携推進研究協力学会」総会開催報告

平成25年度の研究協力学会総会が下記のスケジュールに従い、8月1日(木) 15:30より ANA クラウンプラザホテル広島にて開催されました。総会の進行は本学の藤本副理事が担当致しました。

1. 開会挨拶（会長）
2. 平成24年度事業実績及び決算について
3. 平成25年度事業計画（案）及び予算（案）について
4. 平成25年度役員及び活動評価委員（案）について
5. 閉会挨拶（副会長）

まず、浅原学長（協力学会会長）より開会の挨拶があり、一昨年度の実績と反省を踏まえ、昨年度は活動の改善を行ったなどの報告がありました。また、今年度は本学が世界トップ100に入る大学を目指す、ことなども宣言されました。

以下、上記2.～4.の項目について、産学・地域連携センター橋本教授による報告が行われ、それぞれ満場一致で承認されました。

最後に、本学岡本理事・副学長（協力学会副会長）の閉会の挨拶があり、研究協力学会総会は無事終了致しました。

今後は活動評価委員会のご意見等も踏まえ、事業計画を着実に実行し、本学と会員の皆様がお互いに Win-Win の関係が構築出来ますよう努力致す所存でありますので、益々のご指導・ご鞭撻を宜敷くお願い申し上げます。（H.S）



学長（会長）挨拶



役員と総会風景

これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協力会の今後の活動予定をお知らせいたします。
ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

9月

1 リカレント講座「機能分子材料開発の最前線」

日時 9月7日(土) 10:00~16:00 場所 広島大学工学研究科 115講義室

講師 工学研究院 駒口 健治 准教授, 大山 陽介 准教授, 今栄 一郎 准教授

2 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム (第26回) 「触覚・力覚のモデル化とその応用」

日時 9月9日(月) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 工学研究院 栗田 雄一 准教授

10月

1 講演会「感性がつなぐロボットと人の未来」(終了後、交流会を開催致します)

日時 10月11日(金) 13:00~16:50

場所 ホテル広島ガーデンパレス 2F 孔雀の間

2 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム (第27回) 「プレス加工技術における数値シミュレーションの役割 (その1)」

日時 10月15日(火) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 工学研究院 日野 隆太郎 准教授

3 新技術説明会 in 広島 (終了後、テクノフォーラムを開催致します)

日時 10月17日(木) 10:00~14:20

場所 ホテル広島ガーデンパレス

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/>

産学官連携推進研究協力会についての入会方法および活動情報の URL は
<http://kyoryoku.hiroshima-u.ac.jp/> をご参照ください。

産学・地域連携センター 新産業創出・教育部門長紹介



三枝 省三 Shozo Saegusa

E-mail: shosaegu@hiroshima-u.ac.jp

ひとこと:

「先生は何を教えてください」、「技術経営です」と言っても理解して頂けません。一般にはまだまだこれからの学問分野と感じています。その半面、学生には随分人気が出てきて、毎年述べ600名の学生がMOT関連の知識を学んでいます。彼らが科学技術の専門性とそれを活かす知識・知恵の存在を意識してくれることはうれしい限りです。でも彼らは実社会での経験がほとんどありません。ゆえに私の言葉は決して現実感を持って理解してくれません。それを意識しながら近年は、社会人の MOT 認識向上と学生の実務感覚の向上を兼ねて公開講座も提供しています。少しずつですが受講生も増えてきており、次の飛躍に一步一步進めて行きたいと感じている今日この頃です。ベンチャーマインドを有する創造的人材育成、経営のわかる理工系人材の育成が私のそして部門のビジョンです。

編集後記

7月に気象庁から発表された3か月予報によると、9月も平年と同様に晴れの日が多いそうです。また気温に関しても、平年並みまたは平年より高いとの予報が発表されています。

そもそも、平年とはいつのことを言うのか? ここ2・3年の9月の暑さは、残暑と言うよりかは夏の暑さが続いているような気がします。熱中症には気を付けられない季節が、まだまだ続きそうです…… (F.O)



発行: 産学官連携推進研究協力会事務局 (広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内)

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL: 082-424-6031 / FAX: 082-424-6189 / E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先: 広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL: 082-424-4302 / E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp